

2025年6月24日

各位

会社名 チッソ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 敬三
問合せ先 総務部長 宗 昭浩
TEL (03) 3243-6375

「2023～2027年度 中期計画 ～業績改善のための計画～」
2024年度進捗報告書公表のお知らせ

記

当社は、2000年2月8日の閣議了解により決定された当社に対する抜本的支援措置の前提となる「チッソ再生計画」を3年毎に中期計画として見直しを行い、関係各位の了解を得て遂行してまいりました。

また、「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」に基づき事業再編計画を策定（2010年12月15日環境大臣認可）し、2011年4月より現在の経営形態の下、当社の中核事業子会社であるJNC株式会社が事業再編計画を着実に遂行するよう、その経営の監督に当たっております。

当社は、2019年度決算においてJNC株式会社の単体の経常利益が32億円となり、閣議了解等の目標利益53億円を大きく下回ったことを踏まえた、2020年5月の政府要請を重く受け止め、水俣地域の経済・雇用等に最大限の配慮をしながら、これまで以上に徹底した自助努力など、早期の収益回復と持続的な経営を両立させるための方策を「2020～2024年度中期計画 ～業績改善のための計画～」(以下「前計画」といいます。)として取りまとめ、着実に遂行してまいりました。

近年、当社を取り巻く環境は世界経済を始めとした不透明な状況が続いておりますが、当社においては、「成長事業への投資」、「繊維事業の構造改革による収益改善」、「赤字事業への対策継続」を骨子とする、「2023～2027年度中期計画～業績改善のための計画～」(以下、「本計画」といいます。)を策定し、2024年2月29日に公表し、計画に沿って業績改善の取り組みを進めています。

今般、本計画の遂行結果として「2024年度進捗報告書」を取りまとめ、本日公表することといたしました。

引き続き、本計画の遂行に当たっては、自助努力を前提として着実に、当社責務の完遂を目指してまいります。

「2024年度進捗報告書」については添付資料をご参照ください。

※本資料に記載されている2025年度の進捗目標及び将来の見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の予測に基づいたものであり、将来における当社の実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

2024年度進捗報告書 概要

2025年6月
チッソ株式会社

背景

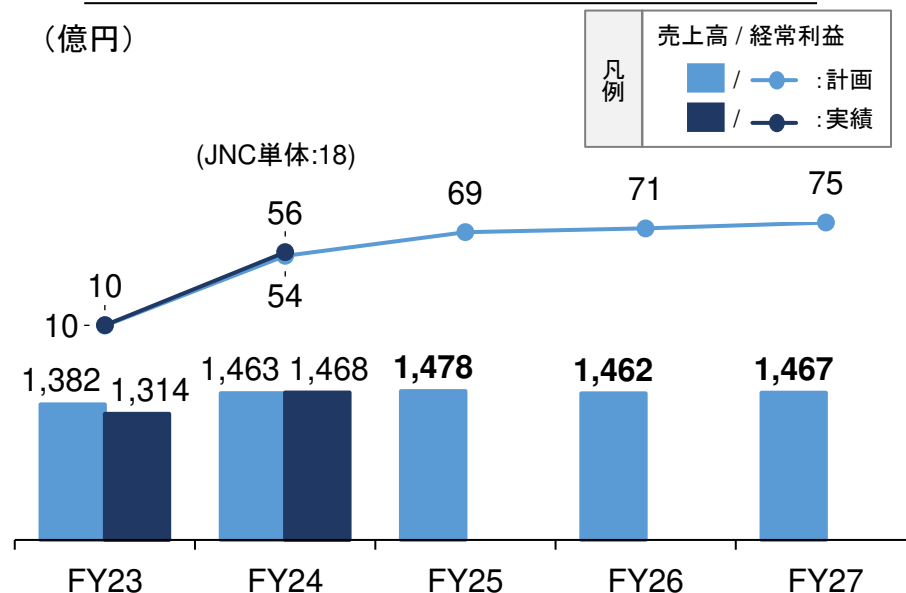
- 当社は、「水俣病特措法」に基づき事業再編計画を策定し、2011年4月より現在の経営形態の下、JNC株式会社が事業再編計画の内容を着実に遂行するよう、その経営の監督に当たってきた。
- 当社は、2024年1月のチッソ株式会社に対する支援措置に関する連絡会議要請を重く受け止め、水俣地域の経済・雇用等に最大限の配慮をしながら、これまで以上に徹底した自助努力など、早期の収益回復と持続的な経営を両立させるための方策として、「2023～2027年度中期計画～業績改善のための計画～」を取りまとめ、2024年2月に公表した。

足下の状況

- 「2023～2027年度中期計画」に基づき、「成長事業への投資」「繊維事業の構造改革による収益改善」「赤字事業への対策を継続」を柱に収益の安定化・拡大に向けた地盤固めの実現に取り組んでいる。FY24は、不安定な国際情勢、資源・エネルギー価格の高止まりによる物価上昇の継続が景気の下振れリスクとなり、先行き不透明な状況となった。
- このような環境下、①肥料の流通在庫滞留の解消及び製品価格の値下げに伴う出荷回復、②医薬品製造工程向け需要の高まりによるライフケミカル製品の販売拡大、③生産設備の大型定期修繕及び住宅や自動車分野を中心とする需要低迷下での石油化学製品の採算改善、④有機ELの合弁ビジネス及びタイムリーな製品提供による販売拡大などにより、JNC連結経常利益56億円、JNC単体経常利益18億円となり、連結・単体ともに計画を達成した。
- FY25の業績予想については、不安定な国際情勢、物価上昇の継続に加え、米国通商政策の動向に対する懸念など、見通しは極めて不透明な状況であり、現段階では合理的な予想値を算定することが困難と判断し、未定としている。

計画/実績数値

【JNC 連結】売上高/経常利益推移



計画骨子の状況

1 成長事業への投資

本計画にて戦略的拡大と位置づけたシリコン・ライフケミカル事業については、成長投資を進めている。また、同じく戦略的拡大と位置付けた肥料事業及び重点育成とした有機化学品事業については、足下の状況に鑑みながら、成長投資を検討中。

2 構造改革

本計画では、不織布事業における販売規模に見合った生産体制の再編が進行中。

3 赤字事業への対策

赤字事業の黒字化に向けた戦略及びプロセス管理、並びにモニタリング強化による事業管理を実施した。周辺材他事業は、赤字が継続も、損益が改善した。ライフケミカル(シート培地)事業は、原料納入基準見直し等による歩留まり改善策が進行中。

2023～2027年度中期計画～業績改善のための計画～ ＜2024年度進捗報告書＞



2025年6月24日
チッソ株式会社

-
- ◆2023～2027年度中期計画の進捗総括
 - ◆2024年度業績振り返り
 - － 計画の進捗状況
 - － 各事業分野の進捗状況等
 - ◆2025年度進捗目標
 - － 計画の進捗目標
 - － 各事業分野の進捗目標
 - ◆患者補償等の実施・果たすべき役割

2023～2027年度 中期計画の進捗総括

チッソの責務と中期計画の位置づけ

チッソの責務

- 患者補償の継続: 当社は、これまでと同様に個別補償協定を確実に履行するとともに、今後ますます高齢化が進む認定患者の方が将来とも安心して暮らせるよう、国、関係自治体の施策に協力していく。
- JNC株式会社の監督: JNCは、当社が行う前述の補償給付、抜本的支援措置に基づく公的債務の返済及び当社運営経費等に係る資金について、支障が生じないように配当を行うことを方針としており、その実行を監督する。
- 地域経済への貢献: 雇用を含め、地域の発展に資するよう、JNCの業績回復を目指す。

中期計画の 策定・報告

- 当社は、2024年1月のチッソ株式会社に対する支援措置に関する連絡会議(チッソ支援連絡会議)要請を重く受け止め、水俣地域の経済・雇用等に最大限の配慮をしながら、これまで以上に徹底した自助努力など、早期の収益回復と持続的な経営を両立させるための方策として、「2023～2027年度中期計画～業績改善のための計画～」(以降、本計画)を取りまとめ、2024年2月に公表した。
- 2024年1月のチッソ支援連絡会議要請において「チッソ支援連絡会議幹事会で、本計画の毎年度の進捗状況を評価する。」とされたことから、2024年度の本計画に基づく各種施策の進捗状況及び今後の方針を報告する。なお、報告に当たっては、主要取引銀行への定期的な業績報告や評価を踏まえるとともに、外部専門家による継続的な助言のもと、2024年度の自社評価を行った。

足下の状況

- 不安定な国際情勢、資源・エネルギー価格の高止まりによる物価上昇が継続し、世界的な物価高騰とそれに伴う需要減退が続いており、引き続き厳しい事業環境となった。
- このような環境下、以下の取り組み等により、JNC連結経常利益56億円、JNC単体経常利益18億円と、連結・単体ともに計画値を達成した。
 - ① 肥料の流通在庫滞留の解消および製品価格の値下げに伴う出荷回復
 - ② 医薬品製造工程向け需要の高まりによるライフケミカル製品の販売拡大
 - ③ 生産設備の大型定期修繕及び住宅や自動車分野を中心とする需要低迷下での石油化学製品の採算改善
 - ④ 有機ELの合弁ビジネス及びタイムリーな製品提供による販売拡大

今後の方針

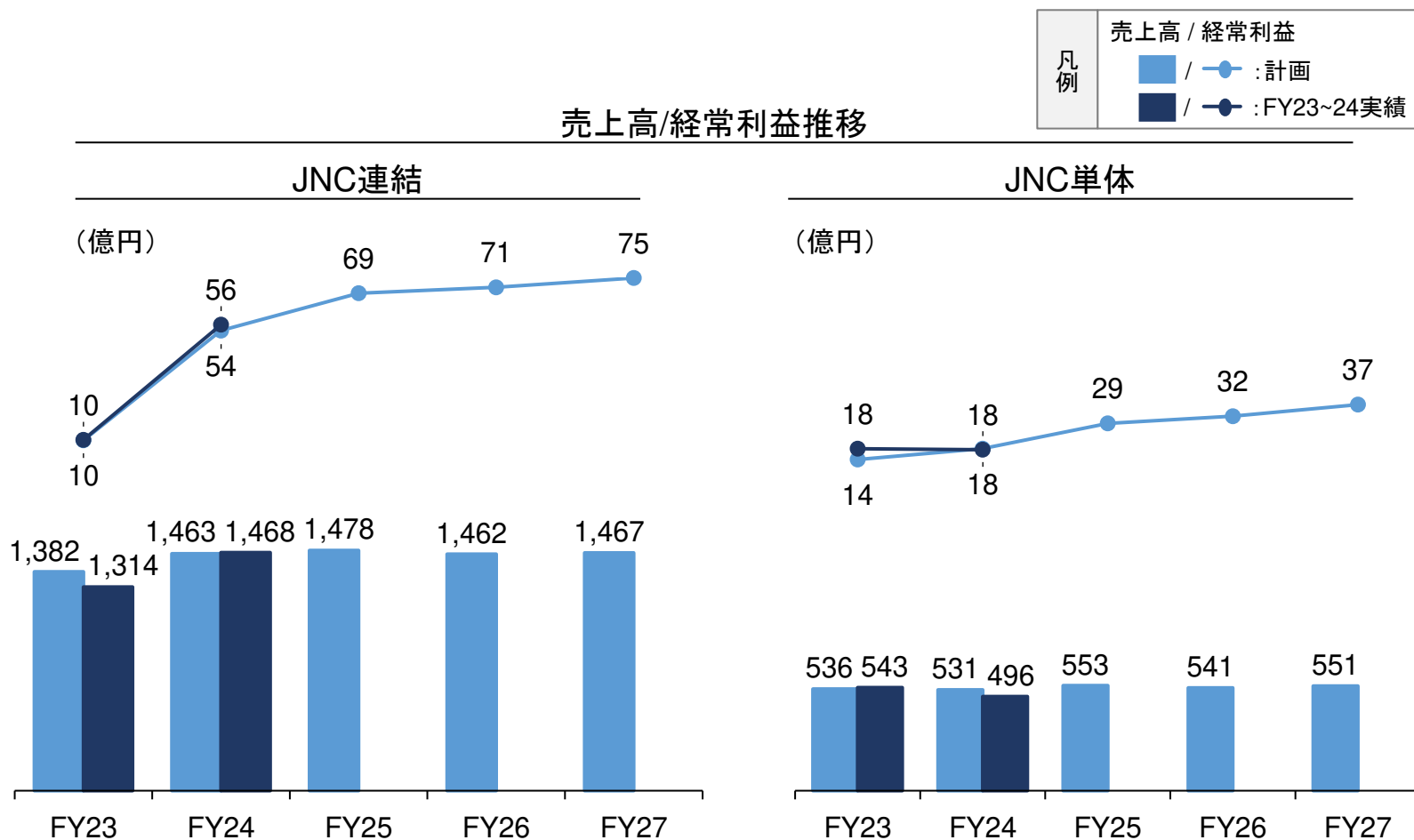
- FY24まで実施している、全社横断的な構造改革を継続する。
- ガバナンス/モニタリングの更なる強化により赤字事業の黒字化に向けた戦略とプロセス管理を徹底する。
- FY25の業績予想については、不安定な国際情勢、物価上昇の継続に加え、米国通商政策の動向に対する懸念など、見通しは極めて不透明な状況であり、不確定要素も重なっている。従って現段階では合理的な予想値を算定することが困難と判断し、未定としている。

上記を踏まえ、引き続き、中期計画を着実に遂行する。

2024年度業績振り返り

【JNC連結・単体】売上高/経常利益推移

FY24JNC連結経常利益は56億円、JNC単体経常利益は18億円となり、ともに計画値を達成。



【JNC連結】計画の進捗状況

計画骨子

進捗状況

1

成長事業 への投資 【計画通り】

- ・ 本計画にて戦略的拡大と位置づけたシリコン・ライフケミカル事業については、成長投資を進めている。
- ・ 同じく戦略的拡大と位置付けた肥料事業及び重点育成とした有機化学品事業については、足下の状況を鑑みながら、成長投資の検討を行っている。
- ・ 基幹に位置づけた機能材料・グリーンエネルギー・原綿事業については、安定収益の確保のため、維持投資を中心に実行した。

2

構造改革 【計画通り】

- ・ 本計画より構造改革に追加された不織布事業では、販売規模に見合った生産体制の再編に向けた、生産拠点の統廃合プロセスが進行中。
- ・ 役員報酬及び幹部社員の給与削減、出張旅費・交際費削減等、コスト削減を継続して実施するとともに、損益状況に応じた固定費管理の周知徹底に努めた。

3

赤字事業 への対策 【計画通り】

- ・ 赤字事業の黒字化に向けた戦略及びプロセス管理、並びにモニタリング強化による事業管理を実施した。
- ・ 配向膜・オーバーコート事業は、赤字が継続も、損益が改善した。
- ・ シート培地事業は、歩留まり改善策が進行中。
- ・ 有機EL事業は、JVを通じた収益拡大の取り組みにより、FY23に引き続き黒字化を達成した。

【JNC連結】各事業分野の進捗状況

高機能材料

- ✓ 液晶材料は、TV用途で顧客の工場停止や減産の影響を受けたが、ノートブックPCやPCモニター用途といったIT向け高付加価値品の出荷が堅調に推移し、増益となった。
- ✓ シリコン事業は、コンタクトレンズ用途、コーティング用途等の出荷が好調となったが、プリントサーキットボード用途では市場の減速が続き、顧客における在庫調整や稼働率低下の影響を受けた結果、減益となった。
- ✓ 周辺材事業は、合併会社の配向膜事業が堅調に推移した。

アグリ・ ライフイノベーション

- ✓ 肥料事業は、国内では流通在庫滞留の解消と原料価格低下による製品価格の値下げに伴い出荷が回復基調となったほか、海外向けの出荷も回復し、増益となった。
- ✓ ライフケミカル事業では、ワクチンや抗体医薬などバイオ医薬品の製造工程向け需要の高まりもあり、医薬品製造工程向け製品は増益となった。
- ✓ 繊維事業は、国内・中国市場ともに需要が低迷したほか、中国市場では価格競争の継続により販売数量が伸び悩んだが、事業構造の再構築に取り組み、損益は改善した。

ケミカル マテリアル

- ✓ アルコール事業は、大型定期修繕およびアジア市況の冷え込みと住宅や自動車分野を中心とした需要低迷により、減益となった。
- ✓ ライセンス事業は、インドを始めとするライセンス案件の成約や成約済み案件の立上げが順調に進捗した。
- ✓ 樹脂事業は、自動車分野の大幅な減産や個人消費低迷、安価輸入品の流入により出荷低調となったが、採算改善に努め、増益となった。

その他事業

- ✓ エンジニアリング事業は、使用済みプラスチックのリサイクル設備に関する大型案件等、手持案件の工事が順調に進捗したが、前期は複数の大型工事完工等の効果があったため、前期比では減益となった。

2024年度決算の詳細については、2025年5月13日にチッソホームページに公表している決算短信を参照ください。
<https://www.chisso.co.jp/investors/index.html>

研究開発の進捗状況

基本方針

事業部門の開発支援により、早期の業績改善に貢献するとともに、未来を変える新しい価値を発見し、社内外の技術を活用した価値創造のビジネスモデルを構築する。

FY24トピックス

ミリ波を制御するデバイス用液晶材料を開発

2024年9月12日 JNC HPに開示

低軌道衛星アンテナやアクティブ反射板に適用可能な、ミリ波を制御するデバイス用液晶材料を開発し、サンプル販売を開始。

より環境に配慮した被覆肥料の販売を開始

2024年10月初出荷

プラスチック使用量を低減した被覆肥料の新グレードの販売を開始。

鳥インフルエンザウイルス簡易検出手法の確立と社会実装に向けた共同研究を開始

2024年11月11日 JNC HPに開示

鹿児島大学および出水市と、養鶏場近隣のため池等の環境水から極めて短時間での鳥インフルエンザウイルス、RNAを濃縮する技術、検知する技術を共同で確立し、社会実装を目指す共同研究を開始。

設備投資の実績

FY24は、頭地発電所のFIT化工事、シリコン・ライフケミカル製品の製造能力増強工事、その他子会社などでの老朽化対策、維持補修工事を実施

設備投資計画		✓ 約400億円(FY23-27)
主な設備投資実績	FIT化投資	✓ 頭地発電所FIT化工事完成
	拡大投資	✓ シリコン製品増産対応工事 ✓ ライフケミカル製品設備増設工事
	維持投資	✓ 子会社を含む設備の老朽化対策、維持補修工事

2025年度進捗目標

【JNC連結】計画の進捗目標 ～ 計画達成に向けて

外部環境の不確実性等に起因し、一部項目においてリスク要素はあるものの計画の確実な達成を目指す。

計画	進捗目標
1 成長事業への投資	- シリコン事業は、高機能品へのシフト及び放熱材用途等の成長性の高い市場への拡販、製造能力増強に取り組む。 - 肥料事業は、既存の化成肥料から環境に配慮した被覆肥料への切り替えを促進するとともに、コスト削減に取り組み収益拡大を目指す。 - ライフケミカル事業は、需要が旺盛な医薬品製造工程向け製品の生産能力増強を図る。 - 有機化学品事業は、高付加価値商品の伸長や新規分野の拡大等で黒字の拡大を目指す。
2 構造改革	- 不織布事業は、削減した生産能力の中で販売最適化も進め、黒字化を達成する。 - 原綿事業は、業界動向を注視しつつ、産業資材分野の販売拡大を推進する。
3 赤字事業への対策	- 配向膜事業は、JVにおける中国市場での拡販等で黒字化を目指す。 - オーバーコート事業は、中国市場への参入を図りつつ、経費削減に継続して取り組む。 - シート培地事業は、量産性の確保と拡販に取り組み、黒字化を目指す。 - 有機EL事業は、市場成長を取り込みながら、利益拡大を目指す。 - PE事業は、引き続き採算改善による中期的な損益改善を図る。

【JNC連結】各事業分野の目標

高機能材料

- ✓ 液晶事業では、得意とするIT/車載用液晶ディスプレイ市場に注力、安定的な収益基盤の構築を目指す。
- ✓ 情報材料事業では、有機EL事業の市場成長取り込みとシリコン事業の有望市場へのアクションを強化し、収益拡大を目指す。

アグリ・ ライフ イノベーション

- ✓ 肥料事業では、新製品の拡販と生産の効率化を通じて、国内No.1 肥料会社としての評価を堅持する。
- ✓ ライフケミカル事業では、主要製品への経営資源の集中により、製造/品質の安定化を通じた収益規模拡大を目指す。
- ✓ 繊維事業では、原綿販売の産業資材比率の向上や不織布販売の細繊維度品・後加工品の比率向上等を推進するとともに、業界動向を注視し安定収益事業の確立を目指す。

ケミカル マテリアル

- ✓ 有機化学品事業では、共同開発/協業含めた高収益商材の創出を通じ、黒字体質事業への変革を目指す。

商事

- ✓ 商事事業では、コア事業領域の拡大による基盤強化、高付加価値商材の拡充、海外事業展開強化に取り組み収益拡大を目指すとともに、加工事業の強化や合理化施策を遂行する。

グリーン エネルギー

- ✓ グリーンエネルギー事業では、すべての発電所でFIT化工事が完了。災害停止による機会損失の最小化対策を推進、安定した収益基盤とする。

その他事業 /共通

- ✓ エンジニアリング事業では、他社との差別化戦略、顧客の開発段階からの参画を強化し、収益の安定化を目指す。

患者補償等の実施・ 果たすべき役割

患者補償等の実施・果たすべき役割

実績		活動内容
患者補償等の実施	(億円)	
	1 患者継続補償	13
	2 公的債務返済	0
	3 合計	13
計画		活動内容
果たすべき役割	雇用創出	✓ 業績改善後は地域からの新規採用を継続し、地域の雇用創出を図っていく。 ✓ 地域の高校等からインターンシップを受け入れ、地域雇用につなげていく。
	環境配慮	✓ 水力発電所(熊本、宮崎、鹿児島)から得られる電力により、永続的に環境に配慮した事業場を目指し、余剰電力は水俣市へ供給する。 ✓ 地域の尿尿のクリーン化、資源化に貢献する。
	地域貢献	✓ 地域行事などに積極的に参加するとともに、次世代育成活動に取り組む。 ✓ 情報公開を行い、当社企業活動、水俣病関連事項への理解につなげていく。 ✓ 水俣病問題の解決のため、国、関係自治体の施策に今後も協力していく。 ✓ 今後も積極的に、地域との対話に取り組んでいく。
		雇用創出 ・新規採用の継続 ・水俣高校インターンシップ受け入れ(次頁④、⑥) ・水俣や近隣の小・中・高キャリア教育に協力(通年、次頁②、⑦) 環境配慮 ・水力発電で得た余剰電力の一部を水俣市の公共施設へ供給 地域貢献 ・水俣市内新小学1年生への自由帳寄贈(4月、次頁①) ・水俣市内及び津奈木町の小学校へ出前授業(11、12月) ・水俣、芦北など各地の小・中・高の工場見学受け入れ(通年) ・福祉施設及び水俣市への寄付活動(通年) ・水俣高校定時制生徒を対象とした安全運転教室開催(5月) ・芦北町にてシルバードライバー交通安全教室開催(9、1月) ・地域美化活動の実施(5、6、12月、次頁③) ・水俣市女子プロサッカーチームのスポンサー開始(通年) ・水俣市スポーツキッズサポーター基金への寄付(通年、次頁⑤) ・水俣川漁業協同組合助成金納付と稚鮎放流事業への参画(4月) ・地域行事への協賛、協力(通年) ・水俣市の認知症サポーター育成教育への協力(3月) ・水俣市コミュニティバスへの協賛(12月) 経済産業省/厚生労働省 健康優良経営法人2025「ネクストブライツ1000」認定 ・JNCセントラル(株)(2025年3月認定)



*1: 水俣本部患者センターによる認定患者の方に対するお世話活動(相談受付等)実施。

地域貢献例

JNC(株)水俣製造所

1

24年4月
新小学1年生への
自由帳200冊寄贈



2

24年9月
水俣市中学生の
職場体験学習受け入れ



JNC開発(株) (水俣自動車学校)

3

24年5月
エコパーク周辺清掃活動



4

24年10月
水俣高校インターンシップ



JNCグループ

5

24年5月
物産展での肥料、防草シートなどの売上金を
水俣市スポーツキッズサポーター基金へ寄贈



JNCセントラル(株)

6

24年10月
水俣高校インターンシップ



7

25年2月
水俣高校などのキャリア教育に協力

